

2025年12月19日

各位

株式会社フジテレビジョン

## 第9回『サステナビリティ経営委員会』の開催について

当社は本日、第9回「サステナビリティ経営委員会」（以下、「委員会」）を開催いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 本日の委員会の内容

#### (1) 外部アドバイザリーボード、各プロジェクトの進捗について

2025年12月8日に開催された第7回外部アドバイザリーボードにおける各アドバイザーの助言等の内容が報告され、特に人権尊重の意識をより社内に浸透させるためのトップによるコミットメントの継続やリソース投入、さらに社内での情報共有等の課題について、具体策を議論しました。

また、人権および人的資本経営プロジェクトのメンバーが、ジェンダー平等に関するプログラムのワークショップに参加し、バックキャストिंगの方法により、将来のフジテレビのシナリオについてロールプレイングを通じて考察を深めたことが報告されたほか、リブランディングプロジェクトの進捗についての共有が行われました。

#### (2) 人権デューディリジェンス ステークホルダーとの対話について

人権デューディリジェンスの一環として、12月15日に、当社の制作現場にスタッフを派遣している派遣会社数社との対話を実施し、派遣会社から見た当社の課題や、当社に派遣されているスタッフの方と当社の関係において考えられる人権侵害リスク等について議論したことなどを報告しました。

#### (3) 長時間労働の改善に向けた議論

制作現場での労働時間の改善に向けて、制作推進局の委員から各番組の作業工程をリスト化し、DX導入で効率化できる点を洗い出したことが報告され、それを受けて技術担当の委員から、今後のAIやDX導入に向けた具体的な提案が示されました。委員からは制作現場で見られる改善の兆しなどが報告され、未来への投資としてさらなる効率化が必要であることが改めて確認されました。

### 2. 今後に向けて

今後も継続的に委員会を開催し、委員会直下の各プロジェクトにおける個別施策等の検討を進めながら、当社のサステナビリティ経営の実現に向けて、実効的な施策を着実に実行してまいります。

なお、委員会での協議内容や各種施策の実施状況等については、今後も随時開示を行う方針です。

以上